

基盤整備部会における 委員からの意見及び対応方針(案)

(第5回基盤整備部会資料)

令和3年11月19日

基盤整備部会における委員からの意見及び対応方針(案)
意見書様式(修正文案用)
(新たな振興計画(素案)に対する意見)

番号	意見者	章	頁	行	新たな振興計画(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	対応方針(案)	備考	担当課
1	高良副部会長	2	15	31	デジタル技術の浸透により、社会・生活・産業等あらゆる面で、既存の価値観や生活様式、ビジネスモデル等に変革をもたらし、より良い社会を創るDXを加速させる必要があります。	DXは、デジタル技術の浸透により、社会・生活・産業等あらゆる面で、既存の価値観や生活様式、ビジネスモデル等に変革をもたらし、より良い社会を創ることとされており、これを加速させる必要があります。 DX用語集に入れる。	DXは、何度も出てきており、ここはその最初である。DXは本振興策の情報関連で重要な概念であり、DXの意味が明確に分かるようにする必要がある。用語集に入れ、何度でも参照できるようにしたほうがいい。	【総合部会へ申し送り】	第5回意見書	-
2	高良副部会長	3	22	11	○人など	数字を記入	まだ○になってる。	【総合部会へ申し送り】	第5回意見書	-
3	平良専門委員	3	22	28	一人当たり県民所得は、平成30年度の239.1万円から令和13年度には〇万円29程度(令和〇年度価格)になると見込まれます。	1人あたりの県民所得について、何回も沖縄振興計画をやってきて、幾らやっても最下位からなかなか脱出しない。これが福祉分野では貧困問題などいろいろ関わっている。今回恐らく最後の振興計画になるかもしれないという時点において、目標値として定めるぐらいの決意を持ってこの計画をつくる必要がある。	-	【総合部会へ申し送り】	第4回意見	-
4	高良副部会長	4	35	24	魅力的に見える可能性がある	魅力的である or 魅力的と考えられる見えるだけなのでしょうか。	【文化観光スポーツ部会へ申し送り】されていないように思われる。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】(理由)ご指摘のとおり修正忘れてありましたが、沖縄県振興審議会における意見に伴い、全体的に文章が長いため、他の章とのバランスを鑑み修正しております。(修正文案)観光地や離島における「移動」に関する先端技術の実験は、企業にとって有益なことから、テストベッド環境の構築を促進する必要があります。観光客に向けたサービスや、離島エリアでの公共交通手段が少ない中でのMaaSやシェアリング・エコノミーの推進等は先端企業にとっても実験の場として魅力的に見える可能性があるため、観光客等に関するビッグデータを利用し、本格展開の前のビジネスの実験場、テストベッド環境を整備する必要があります。	第5回意見書	交通政策課

番号	意見者	章	頁	行	新たな振興計画(素案)本文	意見(修正案等)	理由等	対応方針(案)	備考	担当課
5	小川専門委員	4	83	2	高潮及び潮風害対策については、景観や生態系等の自然環境に配慮した海岸保全施設や防風・防潮林等の整備に取り組みます。	災害と交通という観点で、例えば豊見城市など、海岸に乗合バスや貸切りバスなどの車両基地がある。災害時において、旅客輸送施設のインフラ確保のための視点も入れる必要がある。	-	【委員の意見を踏まえ該当箇所を修正】 (理由) ご意見を受け、83頁2行目を以下のとおり修正致します。 (修正案) 高潮及び潮風害対策については、景観や生態系等の自然環境に配慮した するとともに、背後地の状況を考慮した 海岸保全施設や防風・防潮林等の整備に取り組みます。	第4回意見	海岸防災課
6	平良専門委員	4	83	9	社会基盤施設については、適切な点検や診断の結果に基づき、予防的な補修・補強や計画的な施設の更新を進めることで、ライフサイクルコストの最小化と構造物の長寿命化に取り組みます。あわせて、今後見込まれる膨大な施設の維持・更新を効果的かつ効率的に進めるため、ICTや非破壊検査技術等の新技術を積極的に活用するとともに、PPP/PFIも踏まえた民間活力の導入により、公共施設の長寿命化対策に取り組めます。また、亜熱帯地域に適した防災・減災、長寿命化等に対応するための技術者の育成及び建設技術の研究・開発を促進します。	83頁の長寿命化対策の中で、PPP/PFIも踏まえた民間活力の導入により、公共施設の長寿命化対策と記載がある。PPP/PFIは非常に重要な施策、取組であり非常に評価でき、PPP/PFI等を活用した整備は分かるが、長寿命化対策というのは具体的に何をイメージしているのか確認したい。	-	【原文のとおり】 (理由) 【港湾課】 港湾施設であるマリーナ等については、民間事業者の能力を活用しつつ、地域住民に対するサービスの向上及び効果的・効率的な管理運営を行うことを目的に、指定管理者制度に取り組んでおります。 民間活力の導入による指定管理においては、施設の維持及び修繕に関する業務も含んでおり、日常の管理運営を通じた施設の維持・修繕を行うことで、長寿命化対策にも繋がるものと考えております。 【下水道課】 下水道施設における維持管理、プラント施設運営について、施設の包括業務委託、下水道幹線の包括管理などの公民連携を行うことで効果的かつ効果的な保全業務を行うことを想定しております。 このような民間の活力を用いることで、施設保全の対応力強化(小規模修繕の迅速な対応)、予防保全的な施設修繕を行うことによる施設の長寿命化を図られるものと考えております。 【海岸防災課】 海浜公園における施設の日常点検・修繕を指定管理者制度による指定管理者が実施し、初期の変状を早期に把握・対処すること等により長寿命化に取り組むことをイメージしています。	第4回意見	港湾課 海岸防災課 下水道課
7	神谷専門委員	4	83	22	また、浸水想定区域、土砂災害警戒区域等に所在し、市町村地域防災計画で避難確保計画の策定が必要であるとされた医療施設、社会福祉施設や学校に対し、避難確保計画の策定状況を確認するとともに、未策定の施設については、避難確保計画の策定支援に取り組めます。	83頁の「③避難誘導体制の構築」について、「策定が必要とされた医療施設、社会福祉施設や学校に対し」と具体的に形で記載されているが、他の施設もあるため、「要配慮者利用施設」という形で記載するべきである。また、計画は努力義務ではなくて法的な義務のため表現を考える必要がある。	-	【検討中】	第4回意見	子供生活福祉部 保健医療部 教育庁

番号	意見者	章	頁	行	新たな振興計画(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	対応方針(案)	備考	担当課
8	高良副部長	4	150	32	特に…取り組む。	特に、新港ふ頭地区については、RORO船の大型化や内貨貨物の増大等により那覇港全体の貨物の7割が集中しており、港湾施設用地等の拡大や臨港産業等の産業集積のための展開用地の確保が必要である。このため、港湾施設の拡張等に対する様々な方策を検討し、新たな内外貨ユニットロードターミナル等の整備、各ふ頭の機能再編、那覇港及び周辺地域の物流倉庫の更新・整備等を図り、内貨貨物に対する港湾機能の充実に取り組めます。	修正忘れ。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 (理由) ご指摘のとおり修正忘れでありましたが、沖縄県振興審議会における意見に伴い、P.150_3-(12)-ウ「① 那覇港の物流・人流機能の強化」については、施策説明文のボリュームが多かったため、全体的に内容を要約し、下記とおり修正しております。 (修正案) 那覇港においては、国際流通港湾としての機能充実や臨空・臨港型産業等の集積を図るため、港湾貨物の円滑な輸送を確保する臨港道路の整備、防波堤の延伸・改良、船舶の大型化や貨物量の増加に対応する岸壁の延伸・改良等の港湾施設の拡充整備等による内外貨ユニットロードターミナル等の拡充及び上屋や物流用地の更新・再配置を含めた各ふ頭の機能再編に取り組むとともに、防波堤の延伸・改良や臨港道路の整備等に取り組めます。 また、総合物流センター等のなど、国際物流拠点を構成する主要施設の戦略的な強化・拡充やICTの活用等による港湾機能の高度化の検討を進めます。 あわせて、全国的なモーダルシフトの流れを取り込み、貨物を那覇港内で輸入・移入し保管、仕分け等を行い、移出・輸出する取組等により、那覇港の中継機能を強化し、課題である片荷輸送の解消に取り組めます。 生活物資や産業関連物資等が集中する国内航路については、船舶の大型化に対応する岸壁、ふ頭用地、上屋等を整備し、港湾施設の強化・拡充等に取り組めます。特に、新港ふ頭地区については、RORO船の大型化や内貨貨物の増大等により那覇港全体の貨物の7割が集中しており、港湾施設用地等の拡大や臨港産業等の産業集積のための展開用地の確保が必要であることから、港湾施設の拡張等に対する様々な方策を検討し、新たな内外貨ユニットロードターミナル等の整備、各ふ頭の機能再編、那覇港及び周辺地域の物流倉庫の更新・整備等を図り、内貨貨物に対する港湾機能の充実に取り組めます。	第5回意見書	港湾課
9	小川専門委員	4	154	11		路線バス、乗合バスというのは誰でも利用しやすい環境でなくてはならない。老人でも子供でも、あるいは健康な人も健康でない障害のある人でも、日本人にも外国人にも利用しやすいことが必要である。その取組の一つとしてノンステップバスの導入促進を東京都の95%と同様に図る必要がある。	-	【原文のとおり】 (理由) ノンステップバスの導入支援については、P154の11行目に記載しており、県として、引き続き、導入支援に取り組む方針であることから、修正なしとさせていただきます。	第4回意見	交通政策課
10	神谷専門委員	6	200	27	3 圏域別展開	災害を想定して強靱なまちづくりを平時からつくっておくことや、最悪の状態を想定してそれを回避するという、国土強靱化の2つの基本的な考えを踏まえた具体的な内容を圏域別に記載する必要がある。	-	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 (理由) ご意見を受けP200 27行目に以下のとおりに修正致します。 (修正案) 災害対策等の観点から、地震、台風、集中豪雨や感染症など強大化する自然災害や様々なリスク等を想定し、平時から危機管理体制の強化、ソフト・ハード両面からの防災・減災対策の強化、代替性や冗長性の確保を進め、災害に強い強靱な県土づくりに取り組めます。	第4回意見	土木総務課

番号	意見者	章	頁	行	新たな振興計画(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	対応方針(案)	備考	担当課
11	神谷専門委員	6	204	33	(1) 中南部都市圏の形成と駐留軍用地跡地の有効利用による県土構造の再編	203ページから205ページまでの記載において、中南部都市圏の話と駐留軍用地の話が記載されている。基地の返還が進まなかった場合、都市計画などの他の計画が遅れてしまうことになるため、返還されようがされまいがやることと、返還されたらやることを、それぞれ明確に分けて記載すべきである。(1)、(2)で分けるのか、(1)をア、イ、ウで分けるのか検討してほしい。	—	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 (理由) 当該記載箇所については、目指すべき中南部都市圏の全体の方向性を示しており、中南部都市圏のあり方と跡地利用による県土構造の再編とは一体性を持った必要不可欠な要素であると考えております。 そのため、それぞれの内容を明確に仕分けることはせず、文中の表現を以下のとおり修正することで、跡地返還等の時期に左右されない県土づくりの方向性を示す表現へと修正する。 (修正文案) 中間取りまとめP.204 33行目 今後、中南部都市圏において返還が予定されている大規模な駐留軍用地跡地利用や鉄軌道を含む新たな公共交通システム等の導入に 向けた取組とも連動しながら 、自然資源や歴史資源等の保全を図りつつ、観光振興や産業振興等に資する土地利用を広域的かつ計画的に展開していく必要があります。	第4回意見	企画調整課
12	神谷専門委員	6	205	3	(1) 中南部都市圏の形成と駐留軍用地跡地の有効利用による県土構造の再編	203ページから204ページに中部地域の渋滞などに対して道路整備の話が書かれている。中部圏域の公共交通、特に通勤、通学時間帯は基本那覇に向かっているため、中部圏域だけで考えるのではなく政令指定都市並で120万都市圏である中南部は一体となって土地利用や交通政策を考えることは当然である。P204の最後に「持続可能な都市圏の形成に資する都市計画や交通政策を総合的かつ計画的に推進します」とある。推進することは当たり前のことで、そのために何をすることが重要である。今後10年で公共交通と土地利用を連携してどうするかを記載する必要がある。	—	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 (理由) ご意見を踏まえ、P205の3行目の段落を以下のとおり修正を行います。 (修正文案) このため関係市町村と連携の下、地域が求めるまちづくりなど、市町村の実情を加味した上で、中南部都市圏を一体の都市として捉えた 都市圏の役割や広域的な方向性及び取り組むべき施策等を明確にし 、都市計画区域の再編も視野に入れた取組を進めながら、持続可能な都市圏の形成に資する都市計画や交通政策を総合的かつ計画的に推進します。	第4回意見	都市計画・モノレール課
11	高良副部長	6	228	18	環境負荷に対して	廃棄物等による環境負荷に対して	変更忘れ	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 (理由) 修文意見の反映漏れのため、答申(案)で修正いたします。	第5回意見書	企画調整課
12	高良副部長	6	234	26	環境負荷に対して	廃棄物等による環境負荷に対して	変更忘れ	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 (理由) 修文意見の反映漏れのため、答申(案)で修正いたします。	第5回意見書	企画調整課
13	高良副部長	6	237	15	環境負荷に対して	廃棄物等による環境負荷に対して	変更忘れ	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 (理由) 修文意見の反映漏れのため、答申(案)で修正いたします。	第5回意見書	企画調整課

番号	意見者	章	頁	行	新たな振興計画(素案)本文	意見(修正案等)	理由等	対応方針(案)	備考	担当課
14	高良副部長	6	244	28	環境負荷に対して	廃棄物等による環境負荷に対して	変更忘れ	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 (理由) 修文意見の反映漏れのため、答申(案)で修正いたします。	第5回意見書	企画調整課
15	神谷専門委員	7	251	15	2 計画の効果的な推進	振興計画の第7章について、例えば10年後に点検するときに、今は測ることができないが、5年後の技術だったら測れることがあるかもしれない。今作った指標だけではなく、より適切な指標やそのときの技術を使ってできることがあるならば、見直しを行い、それで評価することが読み取れる文言を記載する必要がある。	—	【総合部会へ申し送り】	第4回意見	—
16	神谷専門委員	—	—	—	—	「環境共生型社会」と何度も出てくるが、沖縄県でいう環境共生型社会とはどういう意味か解りやすく表現する必要がある。	—	【環境部会申し送り】	第4回意見	—
17	神谷専門委員	—	—	—	—	環境共生型社会が部会によって違うイメージで書かれていると思われる。コンセプトの絵がない中で使っているため、読みにくい形になっている。できる限り具体的な言葉を落とし込むなどをする必要がある。	—	【環境部会申し送り】	第4回意見	—
18	神谷専門委員	—	—	—	—	労働生産性を高めるために民間が資本を投入する。それを実現させるための社会基盤、インフラや情報基盤をどうつづていくのかという話が重要な部分である。労働生産性を高めるためのまちづくりや基盤整備などのプロジェクトについては、新たな振興計画ではもっと具体的なことを記載する必要がある。	—	【原文のとおり】 (理由) ご意見の内容については、第4章基本施策の「3 希望と活力にあふれる豊かな島をめざして」に記載されていることから、原文のとおりとさせていただきます。	第4回意見	都市計画・モノレール課